

●世界の主な地震

平成 22 年（2010 年）12 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

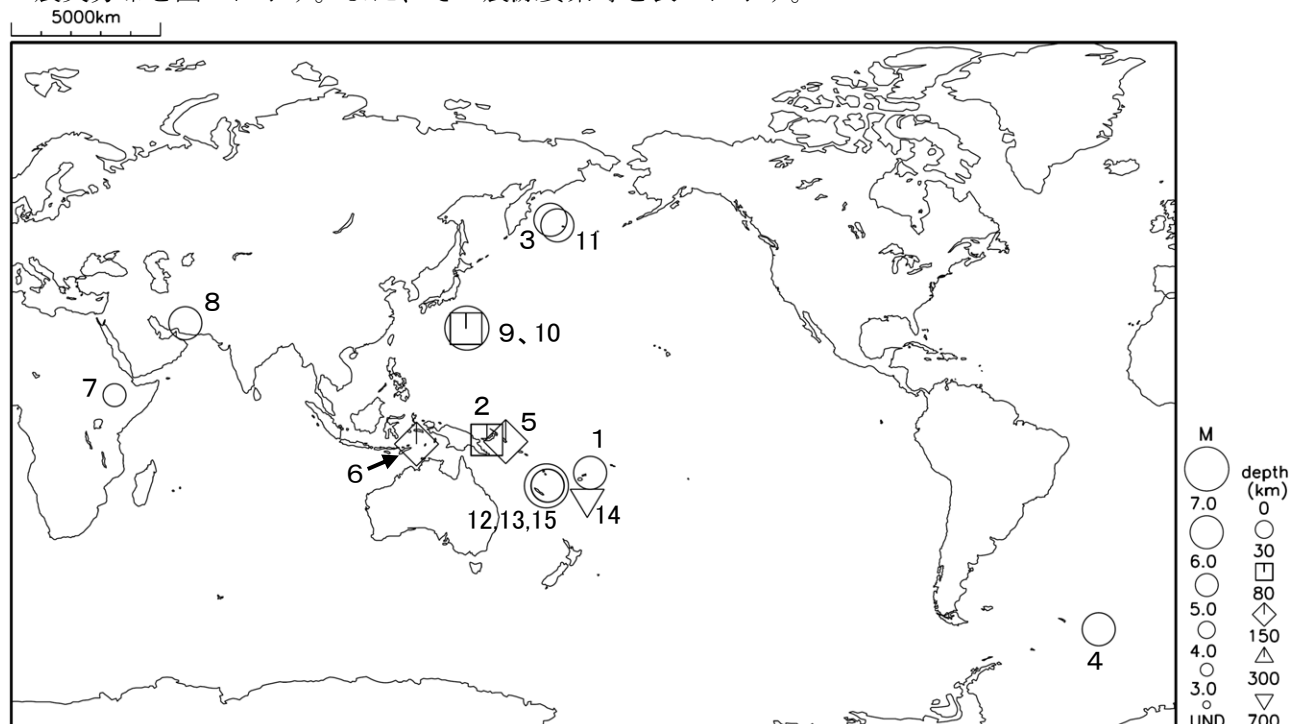


図 1 平成 22 年（2010 年）12 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

* : 震源要素は米国地質調査所 (USGS) 発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュードは気象庁による。

** : 数字は、表 1 の番号に対応する。

***: マグニチュードは表 1 の mb (実体波マグニチュード)、Ms (表面波マグニチュード)、Mw (モーメントマグニチュード) のいずれか大きい値を用いて表示している。

表 1 平成 22 年（2010 年）12 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Ms	Mw	震源地名	備考 (被害状況など)	北西	印洋	遠地
1	12月02日01時01分	S15° 53.2'	W178° 57.3'	15	5.6	5.9	6.1	フィジー諸島				
2	12月02日12時12分	S 6° 00.1'	E149° 58.5'	33	5.9	6.7	6.6	バブアニューギニア、 ニューブリテン		○		
3	12月08日03時17分	N54° 21.6'	E169° 07.1'	10	6.1	5.5	5.8	ロシア、コマンドル諸島				
4	12月08日14時24分	S56° 23.7'	W 25° 46.1'	14			6.3	サウスサンドウィッチ諸島				
5	12月13日10時14分	S 6° 32.0'	E155° 38.8'	136	6.2		6.2	ソロモン諸島				
6	12月15日20時29分	S 7° 15.7'	E128° 46.9'	134	5.8		6.0	バンダ海				
7	12月19日21時14分	N 7° 33.0'	E 37° 50.2'	10	5.1			エチオピア	負傷者多数、建物被害			
8	12月21日03時41分	N28° 29.4'	E 59° 10.0'	12			6.7	イラン南部	死者7人以上、負傷者25人以上など			
9	12月22日02時19分	N27° 03.1'	E143° 56.1'	8	7.0	(7.4)	(7.3)	父島近海		○		
10	12月23日06時49分	N26° 56.3'	E143° 41.3'	59		(6.5)	(6.3)	父島近海		○		
11	12月23日23時00分	N53° 0.76'	E171° 10.6'	20	6.1	6.3	6.3	アリューシャン列島ニア 諸島				
12	12月25日22時16分	S19° 43.9'	E167° 53.7'	12			(7.3)	バヌアツ諸島		○		○
13	12月26日11時13分	S19° 36.3'	E168° 17.0'	13			6.0	バヌアツ諸島				
14	12月28日17時34分	S23° 24.6'	W179° 48.3'	557			6.3	フィジー諸島南方				
15	12月29日15時54分	S19° 40.5'	E168° 12.5'	23			6.4	バヌアツ諸島				

- ・ 震源要素、被害状況等は米国地質調査所 (USGS) 発表の QUICK EPICENTER DETERMINATIONS (QED) による (平成 23 年 1 月 6 日現在)。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素及びマグニチュード (Ms の欄に括弧を付して記載) は気象庁に、被害状況は総務省消防庁に、Mw の欄が括弧つきで記されている地震のモーメントマグニチュードは気象庁による。
- ・ 震源時は日本時間 [日本時間 = 協定世界時 + 9 時間] である。
- ・ 「北西」、「印洋」各欄の○印はそれぞれ、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報 (NWPTA)、及び、インド洋沿岸諸国に暫定提供しているインド洋津波監視情報 (TWI) (地震・火山月報 (防災編) 2005 年 5 月号参照) を発表したことを表す。
- ・ 「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。

12月25日 バヌアツ諸島の地震

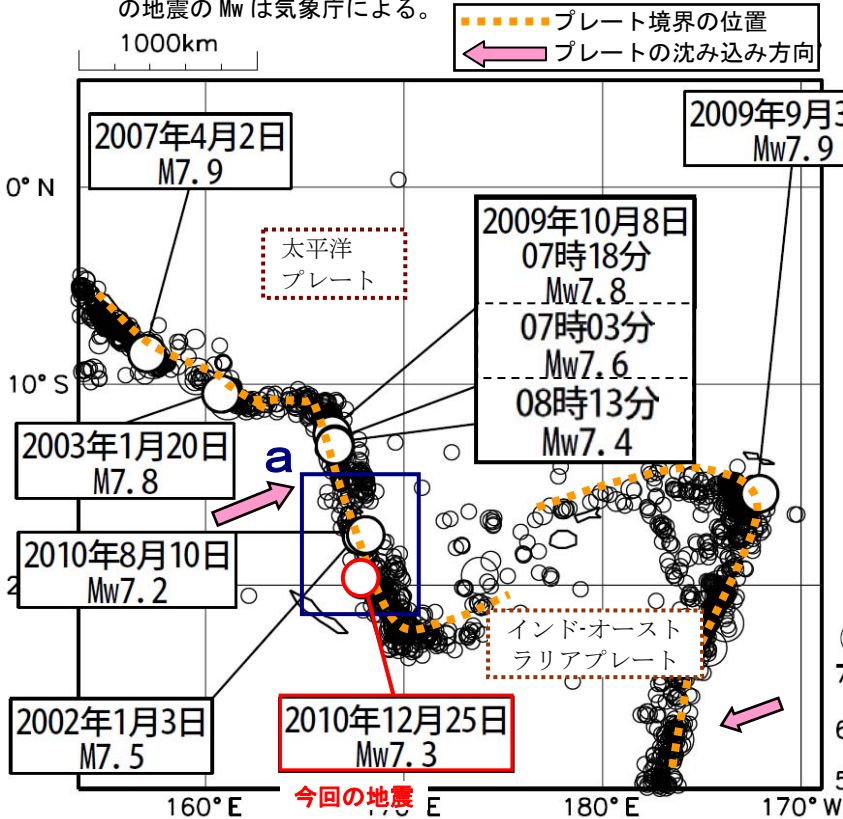
2010年12月25日22時16分（日本時間）、バヌアツ諸島でMw7.3（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁CMT解）は東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型であった。この地震は太平洋プレートとインド-オーストラリアプレートのプレート境界付近で発生した。この地震により、地震の震央から約200km離れたバヌアツ共和国のポートビラでは15cmの津波が観測された（米国海洋大気庁[NOAA]による）。

気象庁は、同日22時33分と23時52分に「北西太平洋津波情報」を、同日22時43分と翌日00時08分に「遠地地震に関する情報」を発表した。

今回の地震の震源周辺では、M7クラスの地震が度々発生している。

震央分布図（2000年1月1日～2010年12月31日、深さ0～100km、M \geq 5.0）

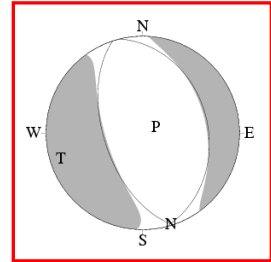
※ 震源要素は米国地質調査所による。
今回の地震及び2009年9月30日、10月8日、2010年8月10日の地震のMwは気象庁による。



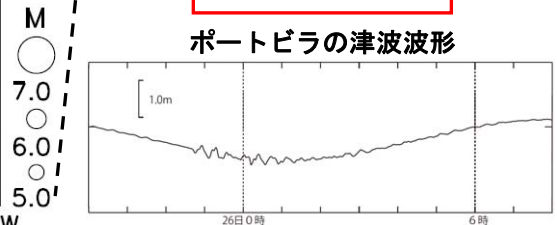
今回の地震の震央位置



今回の地震の発震機構
(気象庁によるCMT解)

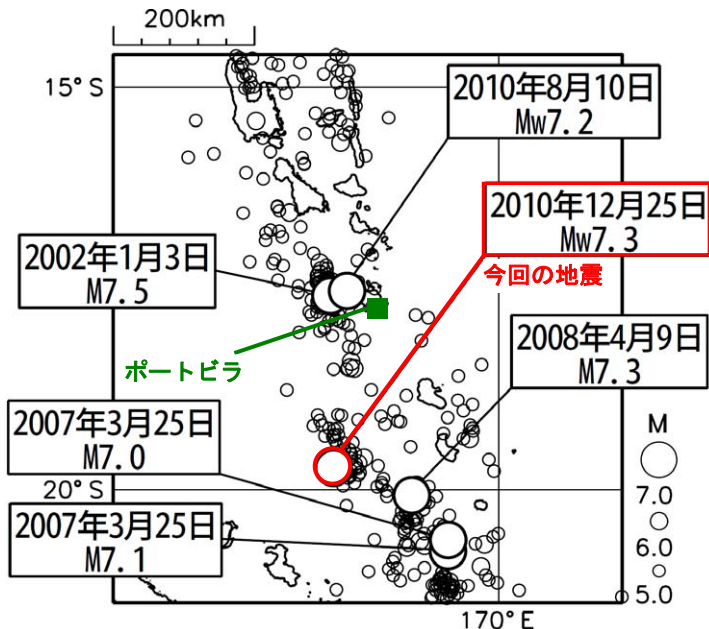


ポートビラの津波波形



領域aの震央分布図 (拡大図)

※ 震源要素は米国地質調査所による。
今回の地震と2010年8月10日地震のMwは気象庁による。



領域aの地震活動経過図

